

春の火災予防運動は3月1日から7日まで

# もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

これからの季節は空気が乾燥し、火災が起こりやすくなります。火の取扱いには十分注意して、家族や地域ぐるみで防火に努めましょう。

問合せ 消防本部予防課  
☎32-13027



## 住宅の防火 いのちを守る7つのポイント

- 1 寝たばこは絶対にやめる
- 2 ストープは燃えやすいものから離れた位置で使う
- 3 コンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す
- 4 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する(点検も忘れずに)
- 5 寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使う

- 6 火災を小さいうちに消すため、住宅用消火器等を設置する
- 7 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

### 山火事にも注意が必要

山菜採りなどで入山する機会が増える季節ですが、この季節は空気が乾燥しているため、山火事にも注意が必要です。

## 温泉保養施設・公衆浴場の入浴料助成

### 平成27年度指定施設を募集します

市では、65歳以上の方や障がい者を対象として、市が指定する温泉保養施設や公衆浴場の利用料金の一部を、1人年間20回まで助成していただきます。このほど、指定を希望される温泉保養施設や公衆浴場を公募します。

市では、65歳以上の方や障がい者を対象として、市が指定する温泉保養施設や公衆浴場の利用料金の一部を、1人年間20回まで助成していただきます。このほど、指定を希望される温泉保養施設や公衆浴場を公募します。

募集要件 応募できる施設の要件については、市HP掲載の募集要領をご覧ください。高年介護課へお問い合わせください。

申込方法 高年介護課に募集

問合せ 高年介護課  
☎35-13181



## 家庭ごみの豆知識

### ごみの出し方 紙製容器包装



#### ゴミを出す前に確認を！ そのゴミは紙製容器包装対象品ですか？

- 対象品は紙のついた容器や包装です。
- 新聞や雑誌、段ボール、容器の内側が白い牛乳パックは、その他の資源ごみとして資源ごみ拠点集積所に持ち込んでください。
- 食べ残しなどは取り除き、汚れている場合は洗って乾かしてください(どうしても汚れが取れない場合は「可燃ごみ」で出してください。汚れたままだと袋の中すべてが資源化できなくなります)。
- 酒やジュースなどのパックについているキャップは、取り除いてプラスチック製容器包装として出してください(ビニールや金属についても出来る限り取り除いてください)。
- 基準を満たしている透明な袋を使ってください(推奨袋または45%以下、厚みは0.03mm以上)。

以上のことを確認していただき、紙製容器包装収集日当日の朝8時30分までにお住まいの地区の資源ごみステーションに出してください(前日夜には出さないでください)。

#### 紙製容器包装の行方

みなさんに分別していただいた紙製容器包装は、工場で段ボールや板紙、紙箱などの一部材料として新たな紙製品に生まれかわります。

高山市で分別収集された資源物が何に再利用されているかは、日本容器包装リサイクル協会ホームページ(<http://www.jcpra.or.jp/>)「わたしのまちのリサイクル」をご覧ください。

問合せ 資源リサイクルセンター  
☎35-1244